

# 中小企業支援・強化を



2013年11月3日  
-54号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

10月21～23日、2012年度の決算審査が行われました。私は、22日の商工労働観光分科会で、質問しました。

## 小規模企業の設備貸与制度、代替制度の検討を

小規模企業者など設備貸与制度について、その実態と国の動向について取り上げ質問しました。

泉洋之中小企業振興課長は、「国と県が事業費を出して県企業振興公社が設備を購入し、企業にリースする制度であり、金融機関の貸付枠外での設備投資が可能で、資金調達に余裕が生まれる。利用実績は2012年度30件、11年度38件、12年度は36件あったが、国の法律により14年度末で終了が決定した。融資制度にないメリットがあるため、各機関と情報交換し、代替制度について検討してい

なければならぬ」と答弁しました。

わたしは、「利用実績をふまえ、内容も良くなる方向で検討してもらいたい。小規模企業がリースできないことになるのではないように」と発言しました。



阿曾隆市会議員の婦人後援会の集まりであいさつする渡辺県議(10月26日)

## 労働相談は？

労働委員会には、主に労働争議に関して解決に向けての調整・斡旋等を行う機関です。2012年度の斡旋事件は、集団・個別あわせて5件扱ったことが報告されました。

私は、相談件数の推移、内容などについて質問しました。深瀬哲審査調整課長は、「労働委員会の労働相談件数は、2010年度30件、11年度84件、12年度113件となっており、増加している要因は、周知や

## ゆり子の視点

自供対決が鮮明に注目と期待  
10月27日、大門みきし参院議員を迎えて国会報告とついでに努め、認知されてきていることによると思われる。相談内容は、解雇・退職や賃金未払い、社会保険に関するものが多い。また、セクハラ、嫌がらせ等の相談もある。「労働相談の窓口は他にもあるが、どこに行ったらいいかわからない方も多くいる。他機関の紹介や助言等も行っている」と答弁しました。



大門参議院議員と握手する渡辺県議

## 県工業技術センター企業支援充実を

県工業技術センターに関して昨年度は共同研究を含めて目標を上回る成果があったことが報告されました。私は県内企業の相談や設備使用の実績、今後の課題について質問しました。

小関敏彦工業戦略技術振興課技術主幹は、「昨年度の技術相談は出張相談を含めて8971件で東北でトップとなっている。受託試験

## TPP交渉からの撤退を 請願は継続...

私が紹介議員となったTPP交渉からの撤退を求め、10月4日の総務常任委員会の審査を経て、継続審査となりました。しかし、8日に断続的に自民、県政クラブの党派協議が行われ、本会議では「国益を守れ、守れなければ交渉からの撤退を」の趣旨の意見書案が提出され、採択されました。

TPP交渉をめぐって、政府の姿勢がぐらいつていることが報道され、政権党の自民党内もゆれていることが見てとれます。世論の力です。さらに草の根の声を広げ、TPP交渉から撤退させましょう。